

49

寫送先

大臣 次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書

(分類 4.1.1.0.5-7)

昭和7 二一〇九四 略 漢口 廿一日後發  
 本省 九月廿一日後着 亞  
 高井總領事代理  
 内田外務大臣  
 第六二一號  
 長沙發本官宛電報  
 第八一號  
 大臣へ轉電アリ度シ  
 第七二號  
 國難記念日ハ昨十八日午前九時ヨリ東門外練兵場ニ於テ舉行セラレ  
 會衆約二萬人ニ達ス劈頭何健ハ司會者トシテ演說ヲ爲シ次テ省政府  
 及市黨部委員等ノ演說アリ最後ニ標語ヲ公表シ十二時頃散會セリ當

外務省

S 1.1.1.0 - 16 387 359

48

寫送先

大臣 次官  
電信課長  
亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化  
人事  
文書  
會計

(分類 4.1.1.0.5-7)

昭和7 二一〇一九 暗 奉天 廿一日前發  
 本省 九月廿一日前着 亞  
 武蔵大使  
 内田外務大臣  
 第九二號  
 齊ハハ爾發本使宛電報第六號  
 當地ニ於テモ十八日ノ記念日ヲ中心トシ何等策動ヲナスタメ反滿洲  
 國便衣隊入り込ミ居ルトノ噂アルニ依リ我軍兵隊ハ數日前ヨリ非常  
 警戒ヲ開始シ滿洲國側軍憲ト協力シ十四日來午後十一時以後戒嚴ヲ  
 布キ居リ當館警察モ在留民保護上遺憾ナキ様嚴重警戒シ居レリ  
 尙當地民會主催ノ滿洲事變一周記念會ハ本日無事終了セリ  
 大臣へ轉電アリタシ  
 哈爾賓、滿洲里へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0 - 16 386 358

日ハ到ル處ニ盛ニ標語「ボスター」掲ケラレ右開會ト同時ニ軍用飛行機市ノ上空ヲ飛翔傳單ヲ撒布シテ大會氣分ヲ啖リ又一隊八名内外ヨリ成ル講演隊約百餘隊市内各所ニ路上演説ヲ行ヘルカ該講演隊ハ邦人居住區域ニ立入ルコト無ク午後三時頃無事退散セリ新聞ハ一齊ニ論説ヲ掲ケ中央黨部ノ指令ニ依リ各官署學校ハ日曜日ニモ拘ラス休業セス半旗掲揚歌舞音曲ノ停止三分間默禱ヲ行ヒタルモ一般市民ハ之ヲ遵守セス至極平靜ニシテ平常ト異ナル所無シ尙何健演説ノ要旨ハ徒ラニ聯盟又ハ他國ニ倚賴スルノ愚ヲ改メ自ラ武力ヲ以テ失地ヲ回復スルヲ要ス之ニハ一致努力先ツ共匪討伐ヲ完成シ内ヲ安ンシ外ヲ討ツノ方針ニ出テサルヘカラスト言フニ在リ各新聞其他ノ論調モ右ト大同小異ナリ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

388

386

支、北平、南京へ轉電アリ度シ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

389

361

陸二

亞細亞局

機密第五〇四號

昭和七年九月二十一日

在南京

總領事代理 上村 伸一

外務大臣 伯爵内 田 康 哉 殿



九一八紀念集會ニ於ケル當館館員逮捕ノ  
新聞記事ニ關スル件

九月十九日ノ上海「ノース、チャイナ、デエリー、ニュース」紙ハ  
當館館員皆川雅雄カ支那人ニ變裝シ九一八紀念集會ニ入場セントシ  
支那官憲ノ爲ニ取押ヘラレ何等騷擾モナク現場ヨリ領事館ニ護送セ

在南京日本領事館

昭和七年九月廿九日接



ラレタル旨報道シ居ル處右ハ九月二十日附第五〇一號拙信報告中ノ  
國民大戲院ニ於ケル南京特別市黨部主催ノ九一八國難紀念大會情況  
視察ノ爲皆川巡查カ本大會カ各機關、各學校、各團體ノ代表者ニ制  
限セラレ居ル事ヲ承知セス慢然入場セントセシ處受付係ニテ姓名其  
他所屬團體名等詳細問ヒ訊サレ押問答ノ末遂ニ入場出來ス歸還セン  
トセシカ更ニ不審ニ思ハレ尙追究セラレタルヲ以テ實ハ日本領事館  
員ナルカ市内巡視ノ序ニ立寄りタルニ過キササル旨ヲ述ヘ引上ケント  
シタル處支那警察官憲モ場所柄身邊保護ノ意味ニテ同道シタル趣ニ  
テ別ニ問題トナラサリシモ同市黨部ヨリ外交部邊ニ報告セルヲU、  
P、記者カ探知シ打電シタルモノナルヤニ思考セラル時節柄爲念報  
告申進ス

在南京日本領事館

S 1.1.1.0 - 16

391

365

S 1.1.1.0 - 16

390

362

本信寫送付先 在支公使

在南京日本領事館

S 1.1.1.0 - 16 392

364

REEL No. A-0045

0230

アジア歴史資料センター

九六



次官 (二) 遺司令官在支各地(武官)  
次長 (三) 陸軍省官海軍省官(武官)  
馬安司令官 (一) 六八五

365

機密第一四三番電 其ノ二

廣東情報 (二十一日 曜 曜) (陸軍省機密第一四三番電 其ノ二)  
一昨午日、廣州民國日報ニ九ノ八國難紀念大會當日行ハレタル假裝行  
列中 當地海軍工會所屬部員ガ日本皇帝及日本軍人ニ扮装セルモ、  
ヲ鎖ニテ縛リ上ゲ之ヲ射殺セントスルノ情態ヲ示セル不届キ至極ナ假裝  
ヲ為セリ<sup>捕</sup>リタル旨記載セリ、當日遊街情況視察ノ為派遣セル本廳通  
譯(一見全ク支那人ニ同シ)ハ日本服ヲ着用セルモ、分薄儀執政<sup>無事</sup>謝介石  
鄭孝胥等ニ假裝セルモ、縛リ連行セルモ、及日本人ニ假裝セルモ、  
(三四名和服用着)ノ後ヨリ小銃ヲ擬セルモノヲ認ム又領事館派

393

遣、密偵ハ假裝日本軍人ノ行列ヲ見タリト云フモ孰シモ右民國日報記  
事ノ如キ假裝ヲ目撃セズト云フ又其他漢字紙ニハ孰シモ日本軍閥  
云ストルノミニテ右ノ如キ記事ナシ  
ニ本件真相未ダ明ラカラザレモ右民國日報記事ニ依リ總領事ハ本日  
市長ニ會見シテ記ノ如ク嚴重抗議スル旨  
(一) 市長ハ本總領事ニ對シテ公文ヲ以テ鄭重陳謝ノ意ヲ表スルト共ニ將來  
ニ於ケル取締ヲ誓約スルコト  
(二) 法ニ依リ責任者ヲ處罰スルコト  
(三) 當局ヨリ關係團體ニ對シテ將來此ノ種不敬ニ且ル行動ヲ再ビセザル  
様嚴重戒告スベキコト

394

二一八〇〇

三三三

普通第三六八號

昭和七年九月二十一日

在厦門

領事 三浦 秋



外務大臣伯爵 内田 康哉 殿

九一八紀念會並日貨燒却寫真送附ノ件

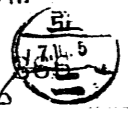
往電第四一號ニ關シ九一八紀念代表大會並日貨燒却前後ノ狀  
況ヲ據レル寫真各一葉御參考迄別添ノ通り送附ス  
追テ日貨燒却ノ實際ハ既報ノ通りニシテ該日貨運搬途中分署  
長ノ目撃シタル所ニ依ルモビール箱ハ悉ク空虛ニシ竹籠ノ内

在厦門日本帝國領事館

附子...  
性...  
係...



別紙添附  
昭和七年九月二十一日



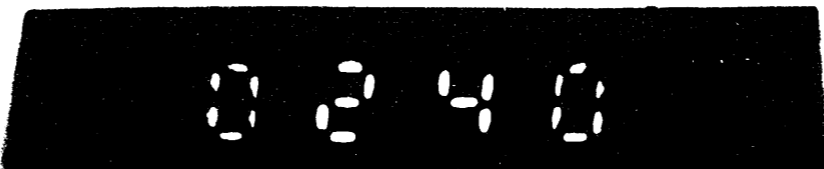
S 1.1.1.0 - 16 395

容モ概メテ怪シケニ見受ラレ又燒却現場ニ於テモ卷煙草用紙  
ノ外ハ殆ト目ホシキモノハ見當ラサリシ趣ナリ

本信寫送附先 公使

在厦門日本帝國領事館

S 1.1.1.0 - 16 396 367



電信課長

昭和7 二一九二 暗

廣東 本省

九月廿二日 後發

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

大臣 次官

第五八七號

往電第五八六號ニ關シ

二十一日午前本官劉市長ヲ往訪シ九、一八紀念大會ニ於テハ越軌的行動無キ様事前ニ度々警告セルニモ拘ラス新聞報道ニ依レハ不敬至極ノ假裝アリタル趣ナル處假裝日本兵ニ侮辱ヲ加フルタニ臯軍ニ對スル絶大ナル汚辱ニシテ延ヒテハ日本ノ國民的感情ヲ傷付ケ國交上甚タ憂フヘキ現象ナルカ本件不敬假裝ニ至リテハ沙汰ノ限リニシテ累次ノ不敬事件ニモ照ラシ當局ノ誠意ヲ疑ハサルヲ得ス殊ニ本件

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

分類

寫送先

外務省

S 1.1.1.0 - 16

397

366 (記)

ハ黨部ノ機關紙トシテ最モ信用アル民國日報ニ掲載セラレ又現ニ日本兵其他ニ扮裝セル者ヲ目撃セル者アリ速ニ本件ヲ解決セサレハ其影響計リ知ルヘカラサルモノアリト述ヘ冒頭往電ノ口上書ヲ示セリ  
ニ市長ハ頗ル當惑ノ面持ニテ陪席ノ吳秘書ニ對シ斯ル事アリタルヤト問ヒ吳ヨリ游行ニ參加セルカ其様ナ假裝ヲ目撃セスト答フルヤ本官ニ對シ右ハ民國日報ニ掲載セラレ居ルノミニテ他ノ新聞ニハ掲載セラレ居ラス(此點ヨリ察シ市長ハ本官ト會見前本件新聞記事ヲ見内々調査ヲ進メ居リタル模様ナリ)尙真相取調ノ上事實ナルニ於テハ勿論貴意ニ從ヒ解決スヘキニ付夫レ迄御猶豫相願度シト述ヘ夫レヨリ種々論議ヲ繰返ヘセルカ時間無クシテ一應引取リタリ  
三、同日午後吳秘書各種ノ新聞紙ヲ抱ヘテ來訪百方陳謝辯解ニ力メ尙

S 1.1.1.0 - 16

398

369

外務省

極力調査中ナルニ付テハ其結果ヲ俟チ改メテ交渉ノコトト致度ト述  
ヘタルニ付本官ハ前述ノ通り本件ノ重大ナル所以ヲ繰返シ調査ニ名  
ヲ藉リ釐決選延セハ如何ナル不測ノ事故發生スヘキヤ知リ難キヲ以  
テ調査ハ三日ヲ出ツルヘカラスト言渡セルニ吳ハ其期間内ニ完了ス  
ヘシト答ヘ更ニ若シ右様ノ事實無カリシトセハ如何ニスヘキヤト問  
ヘルニ付本官ハ其際ハ

(一) 記事取消ヲ掲載セシムルコト

(二) 本件報道ニ付市長ニ於テ海員工會乃至新聞社ノ<sup>責任者ヨリ附</sup>意ヲ表セル信書ヲ  
取付ケ之ヲ市長ヨリ本官ニ取次クヘキコト  
等ヲ履行スルコト必要ナル旨述ヘタル處吳ハ新聞殊ニ黨部新聞ニ對  
シ市長ハ頗ル機微ナル關係ニ在リ事甚タ困難ト存スルモ以上市長ニ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

399

370

復命シ速ニ解決ヲ計ルコトニ努力スヘシト答ヘ引取レリ  
支、北平、駐滿全權、漢口、南京へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ、駐滿全權ヨリ奉天へ轉電アリ度シ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

400

371



電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和7 二一九四 暗

廣東 本省

九月廿二日後着

亞

内田外務大臣

第五八九號

吉田總領事代理

往

電

電第五八七號交渉ニ當リ本官カ一應黨部機關紙ノ記事ヲ事實ト看

做シ敢テ真相調査ヲ要求セス所謂定石ヲ打タサリシハ

(一)當地ニ於テハ過去一ケ年内ニ此事件ノ發生既ニ三回ニ及ヒ黨部ハ

從來ノ我方ノ好意ニ馴レ近來動モスレハ勝手ナル言ヲ爲ス嫌アルヲ

以テ之ヲ審ムル要アリ

(二)本件カ急ニ解決ヲ要スル重大事項ナルコトヲ強ク印象セシメ且ツ

(三)假令調査ノ要アリトスルモ之ヲ以テ解決ヲ遷延セシムルノ拙策ナ

分類

外務省

S 1.1.1.0 - 16

401

372

ルコトヲ知ラシメンカ爲當初ヨリ高壓的ニ出テタル處  
先方モ事重大ナルヲ察シ事實調査モ冒頭往電通り三日ヲ限リテ誓約  
セル次第ナルカ市長秘書ノ談話ニ付テ察スルモ本件ハ省黨部(陳濟  
棠系カ牛耳リ居レリ)

市長(胡漢民系)虐メ策ナルヤニモ觀測セラレ

冒頭往電ノ通り轉電セリ

支ヨリ上海へ、駐滿全權ヨリ奉天へ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

402

373

電信課長

大臣  
次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人文 文書 會計

寫送先

昭和7 二一九三 暗

廣東 二十二日後發  
本省 九月二十二日後着

亞

内田外務大臣

吉田總領事代理

第五九〇號

在電第五八七號ニ關シ

二十二日民國日報ハ海員公會ヨリ九、一八國難紀念ノ記事同會  
工人カ日本皇帝及日本兵ニ扮裝シ云々ノ記載アリタル處右ハ事實  
ニ符合セス同會工人ノ假裝ハ逆徒(鄭孝胥、謝介石等)討伐ノ狀  
ヲ示セルモノニ付右様更成アリ度キ旨ノ申入ニ接セルヲ以テ該記  
事ヲ更成スル旨取消文ヲ掲載セリ

三右ニ關シ同日市政府吳秘書來訪自分親シク海員公會ニ就キ取調ヘ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

403

374

タル處本件事實無キコト判明セルニ依リ早速新聞ニ對シ取消申入  
方ヲ命令シ即座ニ右取消方ノ書翰ヲ書カシメ更ニ自分モ右ニ筆ヲ  
入レタル次第ナルカ本件ハ黨部トノ機微ナル關係ヲ生スル惧アリ  
市長トシテモ最モ苦境ニアリ斯クハ早手廻シニ調査ヲ遂ケ事實無  
カリシコトヲ確カメ早速取消サシメタル次第ナレハ此ノ邊ニテ何  
トカ御寛恕アリ度シト纏々歎願セリ  
三依テ本官ハ事實無根ナル場合ニ於ケル條件ハ昨日言渡シ置キタル  
通りナレハ右條件ヲ其ノ儘履行スヘシト申聞ケ諸般ノ事情ニ照シ  
此ノ際至急解決セラルルコト得策ナル旨市長ニ對シ報告セラルヘ  
シト附言シテ之ヲ引取ラシメタリ  
前電ノ通り轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

404

375

公使ヨリ上海へ駐滿全權ヨリ奉天へ轉報アリ度シ

外務省

S 1.1.1.0-16 405

376

REEL No. A-0045

0045

アジア歴史資料センター

d. (四)

七・九・二二、〇〇二〇三〇

無線 馬六甲 (一六八七)

馬六甲司令官

抄

377

次官(三三連司令官)在支各(次官)  
三三連隊長官(海軍特務官)

第一九三番電

南支二十一日情報

一福州(北上)領事談

(一)蔣光鼐來福掃昔、為ニシテ當分滞在ノ予定ナリト云フ隨テ  
共匪討伐ハ相當進展スベシ

(二)蔣介石ハ八路路軍ノ福建省ニ地盤ヲ確立スルヲ好マズ且海  
軍側ノ勢力ハ尚板クベカラサルモノマリ隨ヒテ省政府改組問題  
急ニハ實現セザルベシ

(三)市内平穩抗日週向行事トシテ路傍演說ヲ為ス者アルモ及郷音

ヲ認メズ日貨ノ輸入ニ對シテ影響音ナキモノ如シ

二厦門(樞)

(一)十九日ニ於ル市内六艇ニヨル邦船荷役ノ警戒保護ハ甚カシク  
有効ナリシモノ如ク糾察隊ハ敢テ近寄ルヲ得ズ彼等ハ昨二十日  
抗日會議ヲ開キ対策ヲ考究セル由ナリ(領事館報)

(二)市内平穩ナルモ民船工會ノ布告及糾察隊ノ活動等ニ因シテ今後  
尚警戒ヲ要スルモト認ム

(三)一般市民ハ長期抗日運動ニ倦怠ヲ生ジ居ルニナラズ且日本物貨低  
廉ニ及テ民心日貨歡迎モ多ト(領事館報)

(四)平日限リ市内特別戒嚴令ヲ撤セリ

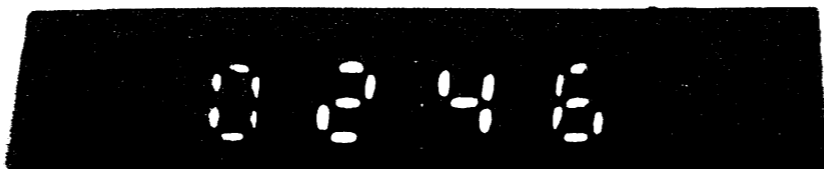
三汕頭(竹)

(一)市内平穩

(二)排日貨ハ表面的ニ他地方ニ比シ依然激烈ニテ日貨検査員ヲ増加シ日貨  
密輸入取締ニ當ラシメシマリト最モ財政的ニ可成窮乏ニ居ル為差シム事モナラズ

S 1.1.1.0 - 16 497

S 1.1.1.0 - 16 496



亞三編

機密第二二七號

昭和七年九月二十二日

昭和七年拾月五日

接受印

7.10.5

管報部

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

在汕頭

領事館事務代理 戸根木長之助



九一八紀念日情況ニ關スル件

本件ニ關シテハ既ニ電報ヲ以テ具報ニ及ヘル處詳細左ノ通り追報  
ニ報告申進ス

一、各界代表大會

豫定ノ如ク午前十時ヨリ各界代表五百餘名參集主席團トシテ  
市黨部 余祖明 東區綏靖公署 李超凡 市政府 梁平  
第三政訓處 李慈周 市教育會 唐人 市商會 吳海 廣  
東銀行汕頭分行 錢格 婦女救濟會 王志潛

在汕頭日本領事館

ヲ舉ケ默禱三分ノ後主席余祖明開會ノ辭ヲ述ヘ適ニ十一時トナル  
ヤ滿場起立シテ五分間ノ默禱ヲナシ次テ市黨部委員吳梓芳ノ九一  
八略史ノ説明其他五六番ノ演說アリ左記提案ヲ終リテ紀念攝影後  
一時三十分解散セリ

提案

(一) 全國ニ一致徹底的抗日方通電スルコト

(二) 中央ニ東北叛逆討伐令發出方電請スルコト

(三) 中央ニ即日出兵失地回復方電請スルコト

(四) 東北義勇軍ノ守土抗日ヲ電慰スルコト

(五) 仇貨ノ收裝輸入ヲ嚴防シ對日經濟絕交ヲ貫徹スルコト

(六) 抗日軍事ヲ利スル爲メ義捐金ヲ募集スルコト

吳梓芳ノ開會ノ辭大要

今日中日關係ハ不倶戴天ノ狀ニ在リ一種ノ對敵行爲ヲ永遠ニ存續  
シ日本中國ヲ亡ホササレハ中國日本ヲ打倒シテ以テ生存ヲ求ムル  
ヲ要ス

在汕頭日本領事館

B 1.1.1.0 - 16

409

375

B 1.1.1.0 - 16

408

375

之カ爲メニハ先ツ吾人ハ帝國主義ニ壓迫セラレタル原因ヲ探究スル要アル處概言スレハ右ハ國民ノ意氣消沈ニ在リ即チ中國ト誇稱セル國民ノ對外鄙視ハ世界ニ落五シテヨリ對外敬遠トナリ滿清ノ對外戰爭失敗ノ結果ハ外國畏懼ニ變シ此ノ間自民族ヲ劣等視シ歐米人ヲ優等民族ト思惟スル慣習ヲ養成スルニ至リ總テハ殖外的心理ニ移リ遂ニハ商店商船等外國々旗ヲ掲ケ或ハ外國銀行ニ預金スル等外人ニ倚ルヲ以テ禮符トスルノ「侍外」心理キナリ果テ民族精神ノ淪亡極ニ達セリ帝國主義者ノ壓迫侵略ヲ致セルハ實ニ中華民族精神ノ消沈ニ在リ左レハ今後ノ雪恥救國ハ須ラク民族精神ノ發揚ニ在ル處右ノ外原來中國人ハ組織ナキヲ以テ先以テ國體大小ノ團結ヲ鞏メサルヘラス次テハ國體民ニ自衛力ヲ有スルコト必要ニシテ更ニ今後生存ヲ争フ必要條件トシテ國民的經濟力量ヲ備ヘサルヘカラス國民經濟ノ發展ハ積極的ニハ國貨ヲ振興シ消極的ニハ外貨ヲ拒用スルニ居ルモ同時ニ一切ノ外貨ヲ拒用スルハ中國製品缺乏ノ今日成シ得サルヲ以テ抗日救亡ノ計ヨクスルモ先ス對日

在汕頭日本領事館

S 1.1.1.0 - 16 410 386

經濟相交ヲ行フヘナリ  
ニ市内情況  
適ニ荒天ナリシ爲一般市中ノ狀況ハ殆ト平日ト異ラス商戶等モ大抵ネ開店シ休業セルハ極少數ニシテ又半旗ヲ掲揚セルハ市政府ヲ始メ其他ノ機關ニ過キス「ボスター」宣單等モ客年排日勃發當時ノ如ク雜多ナラス概シテ熱意ヲ認メ得サリキ  
三官憲側ノ取締  
既電ノ通り學生抗日會ノ巡行計衛ハ完全ニ官憲ノ取締ニテ取消サレ、大會開場モ武裝軍警ニテ内外ノ警戒ヲナセル外各代表ノ入場ニハ指揮者ヲ定メ別添ノ如ク入場券ヲ轉送セシムル等手落ナキ措置ヲナシタリ  
邦人保護ニ付テハ當館附近ニ綏靖公署ヨリ少數軍隊ヲ派員セル外主要箇處ニハ便衣ノ巡警ヲ立哨セシメ各區公安分局ニモ夫々管ノ邦人特別保護方命令シタル等相當中國側ノ警戒振行届キ居レリ本信寫送付先、在滿大使、公使、北平、福州、厦門、香港、廣東、臺灣、馬公。

在汕頭日本領事館

S 1.1.1.0 - 16 411 381

51

機密第七七二號

昭和七年九月二十二日

第一號

別紙添付

改正

7.10.5

外務省

在哈爾濱

總領事代理 副領事長 岡半六

岡半六

外務大臣伯爵内田康哉殿

件名

九、一八紀念不穩文書撤布ニ關スル件

本件ニ關スル 九月二十一日附 在滿大使宛

拙信 公領 機密 第二九 號寫何等御參考迄茲ニ送付ス

S 1.1.1.0-16

412

公領機密第二九號

昭和七年九月二十一日

在哈爾濱

總領事代理 長 岡 半 六

在 滿

特命全權大使 武 藤 信 義 殿

九、一八紀念不穩文書撤布ニ關スル件

九月十六日市内ニ於テ滿洲事變紀念日ヲ目標トスル中國共產黨滿洲省委系「九、一八事變紀念宣言」ト題スル不穩文書撤布セラレ又九月十八日紀念日當日馬家溝東支「パンツシ」避難民收容所内ニ數種ノ不穩文書貼付セラレアルヲ發見押收シタル狀況ニ關シテハ既報ノ

S 1.1.1.0-16

413

383

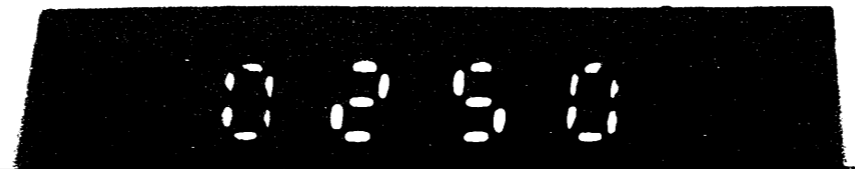
通リナルカ更ニ内全シタル結果紀念日當日馬交黨公党内ニ「第一期  
 東北証紙九、一八特刊」ト題スル省發機關紙發布セラレタル事既マ  
 リ又紀念日以後即九月二十日米明新市街方面ニ於テ九、一八紀念日  
 マ目録トスル漢、韓文各報不機文藝發布セラレアルマ發見押込シタ  
 リ  
 因ニ右ノ中東北証紙ハ從來省發機關紙タリシ滿洲証紙マ改題シタル  
 モノノ如ク同紙ハ新函紙四ツ切大ニシテ後面ハ青裏面ハ赤インクマ  
 以テ府寫成刷ニテ極メテ細キ漢文マ綴メ無印巧ミナルモノナルカ其  
 内容要辨別紙ノ通  
 右報告ス

S 1.1.1.0-16 414 384

本信寫送付先

- 外務大臣 在中華民國公使
- 在北平參事官
- 在奉天 吉林 間島 南京 上海 長春各總領事
- 關東廳 朝鮮總督府

S 1.1.1.0-16 415 385





日本帝國主義ノ滿洲占領以來既ニ一周年ハ來レリ滿洲ヲ喪失シ幾百萬ノ中國、朝鮮ノ勞働民衆ハ完全ニ日本ノ野獸ノ如ク暴虐ナル奴隷下ニ奴隷生活ヲ爲シツツアリ、大多數ノ勞働者ハ工場ヨリ退放サレ完全ニ退放サレ失業シ幾百萬ノ農民ハ土地食糧ヲ失ヒ兵士ハ亡國奴ノ軍隊トナリ日本軍ノ越ク處城市ヲ砲撃シ鄉村ヲ掠奪シ民衆ヲ屠殺シ滿洲ニ於ケル幾百萬ノ中國、朝鮮ノ勞働者ハ完全ニ人的條件ヲ喪失セリ

彼ノ英、米、獨、佛ノ列強ハ亦日本ト軌ヲ同フシ帝國主義的強盜ニシテ國際聯盟ハ即チ彼等強盜等ノ後援ナリ、中國ノ此大災害ニ乘シ

中國ヲ瓜分セント欲スル輩ナリ又我國ノ國民黨及其他ノ一切ノ黨派悉ク帝國主義ノ走狗ニシテ彼等ハ滿洲ヲ賣ラントシツツアリ彼ノ所謂抗日救國尖地回收ハ民衆ヲ欺瞞スル日關ナル事ハ三歳ノ小兒モ知ルモノナリ

滿洲國ハ國民黨ノ化身日本帝國主義ノ忠實ナル走狗ナリ、日本帝國主義ヲ滿洲ヨリ退放スルニハ工機民衆ノ團結力ヲ利用シ中國共產黨員及中國「ソヴイェット」政府ノ指揮指導下ニ之ヲ實現セザルハカラス

工人農民!!革命的兵士。學生等ヨリ一敗シテ奮起セヨ!!革命軍隊委員會ヲ組織シテ日本帝國主義ト徹底的ニ決戦スヘシ、農民兵民ハ義勇軍ト遊撃隊ヲ組織シテ抗日戰爭ニ參加シ日本軍及地主ノ武装ヲ

奮進セヨ！！

義勇軍ノ兵士ヨ！！國民黨及一切ノ反動領袖ノ指揮、利用ヨリ離脱シ  
工農軍ト聯合シ工農勞工耕稼ノ行動ヲ援助シ徹底的ナル民族革命戦  
争ヲ實行セヨ！！

民族革命戦争ヲ以テ日本及一切ノ帝國主義ノ忠實ナル走狗滿洲國ヲ  
打倒セヨ！！

滿洲、上海及全中國ヲ買切ニ出セル國民黨ヲ打倒セヨ！！

滿洲「ソグイェト」政府ヲ樹立セヨ！！

帝國主義ノ蘇聯攻撃ニ反對セヨ！！

無産階級ノ祖國ヲ擁護セヨ！！

論文

九、一八一周年ヲ記念シテ武装シ蘇聯ヲ擁護セヨ！！

九、一八事變ニヨリ日本帝國主義カ滿洲ヲ占領セシ事實ハ万人衆知  
ノ事實ニテ是ハ即チ帝國主義カ蘇聯攻撃ヲ開始セル事ヲ意味スルモ  
ノニテ而シテ日本帝國主義ハ蘇聯攻撃ノ急先鋒トナレリ、日本帝國  
主義ハ九、一八事變後新ラシキ傀儡タル滿洲國ヲ組織シ中東鐵路ヲ  
占領シ呼海鐵路ヲ急造シ天崗鐵道、中東鐵路ノ東西兩部線、松花江  
沿岸ニ多數ノ陸海空軍ヲ配置シ無恥ナル徒ヲ使役シテ各種ノ謠言ヲ  
捏造セシメ蘇聯ニ戦端ヲ挑シツツアリ

蘇聯ハ無産階級ノ祖國ナリ

蘇聯ハ殖民地半殖民地ノ民族解放運動ノ指導者ナリ、蘇聯ハ反帝國  
主義ノ柱石ナリ、今ヤ帝國主義ハ蘇聯ニ對シ進撃ヲ開始シ之ヲ滅亡

セメントシツツアリ

奮起セヨ 一切ノ民衆ト共ニ徹底的ニ民衆革命戦争ヲ起シ滿洲「ソ  
グイエト」政權ヲ樹立セヨ、

雜文

九、一八事變ト朝鮮民族

九、一八事變ニヨリ東北ハ第二ノ朝鮮ト化シ日本帝國主義ノ蹂躪下  
ニ統治サレ東北三千萬民衆ハ韓國被壓迫民衆ト同一ニナレリ  
不斷ノ屠殺掠奪、淫ニヨリ一切ノ生存條件及自由ハ喪失サレ中  
國、朝鮮ノ勞農民衆ノ利害ハ完全ニ一致セリ  
日本帝國主義ハ民族自決、滿洲獨立、清朝復辟、蒙古獨立、間島自  
治等欺瞞政府ヲ以テ滿韓蒙ノ諸民族ヲ蒙蔽セリ

S 1.1.1.0 - 16

420

390

九、一八事變後此一ケ年間ニ中國、朝鮮ノ勞農民衆ハ各種ノ嚴重ナ  
ル教訓ヲ得タリ、即ハチ帝國主義驅逐ノ爲メニ中國朝鮮ノ勞働界

衆カ聯合シテ奮起シテ鞏固ナル聯合戦線ヲ以テ徹底的ナル反日民族

革命戦争ヲ實行セサルヘカラスト自覚セリ

中國、韓國ノ勞働者民衆ヨ、民族革命戦争ヲ以テ日本帝國主義滿洲

國政府ヲ打倒セヨ

S 1.1.1.0 - 16

421

391

寫送先

會文人情條通歐亞  
計書事化報約商米細亞

大臣  
次官

電信課長

亞細亞  
印

分類 11056

昭和7 二一三二八 暗

蘇州 廿四日後發  
本省 九月廿四日後着

亞

内田外務大臣

川南領事代理

第三六號

往電第三四號ニ關シ

民衆教育館主催ノ提灯行列ハ九、一八記念ノ名目ヲ避ケ國貨提唱宣  
傳ヲ標榜シ各商店ヨリ代表者ヲ出サシメ二十一日ヨリ二日間舉行ス  
ル事ニ變更セラレタルカ二十一日ハ相當ノ參加者アリタルモ降雨ノ  
爲取止メトナリ昨二十三日夜行ハレタリ參加人員三百市街ヲ煉廻リ  
氣勢ヲ擧ケタルカ午後八時半頃其中一隊カ日本租界方面ニ向ヒタリ  
トノ報ニ接シ警戒セルモ何等示威的言動無ク租界ノ前通ヲ通過セリ

外務省

S 1.1.1.0 - 16

423

395

一 去ル十九日米國運送艦、ヘンダーソンニテ海兵未港ノ際新聞ニハ海兵  
セ〇〇ノ増員ヲ報シタルヲ以テ真相調査セシ所單ニ補充交代ニテ  
布達ヨリ三六〇人未着末月上旬同数ガケ帰還セシムル予定ナリト  
云フ  
ニ 上海特別陸戰隊ノ特別警戒撤收後當方面至極平穩ナリ

二二一六〇〇

S 1.1.1.0 - 16

422

秘

次官  
長官

(一) 艦隊參謀長 各領事官 參謀長 艦隊參謀長  
(支那各地駐劄武官ニ選可令官 海防部 海防部 海防部)

艦隊參謀長

ニル、ニ二一六〇〇 無線 共 雲 辭 (一七四〇)

機密第七一番電 三艦秘一ニ

392

支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、南京へ轉電セリ

外  
務  
省

S 1.1.1.0 - 16 424

394

REEL No. A-0045

0255

アジア歴史資料センター

西園遊記  
特外解致第三三二號

昭和七年九月廿四日

福岡縣知事 小栗一雄

昭和七年九月廿七日發  
395

以下

内務大臣少輔 齋藤 啟  
外務大臣 内田 康 哉 殿

指之廳 岩 縣 長 官 殿

九一八 紀念日ニ関スル件

九月十九日天津支那ノ汽船北嶺丸等ハ移動於蒙復カ  
滯留中ノ目標ノ件ニ関シ得タル情報ニ依リハ中國々  
家王義青年堂所屬學生聯合會ニ於テハ九月十六日  
河北法高學校ノ訓育室ニ各學校學生代表ヲ召集シ

タルカ奉命者各代表十七名ニテ 候 越 (亦大線 逆判 龍 巻 編  
輯人 近 波 公 子) 王 席 ト ナリ 尤 ノ 議 案 ヲ 討 論 シ 決 議 シ  
リト

- 一 宣傳隊四隊ヲ組織シ各隊五人ニシテ各講習所ニ  
基キ九一八紀念講演ヲ行フ
- 二 女生家庭講演隊三隊ヲ組織シ各隊五人トシ各學  
生家庭内ニ講演ヲ行フ
- 三 別動隊ヲ組織シ五十人ヲ五隊ニ分テ每隊十人トシ  
英佛日幸行ニ派遣シ日貨賣買者ヲ追尾シテ特  
別製ノ爆彈(頑具ニテ爆竹ニ合シキモノ奇響アリ大ナルモ  
トヲ投下シ又各組界ノ張樂場ニテ當日閱場スルモノニハ

S 1.1.1.0-16 426

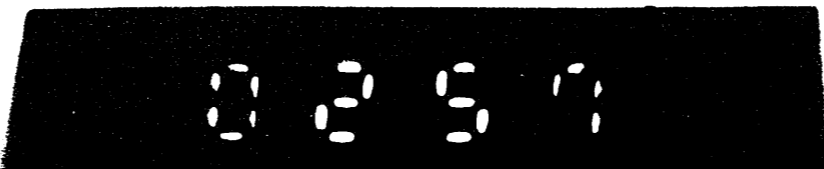
S 1.1.1.0-16 425

亦顯爆彈ヲ自是發火爆發ヲササシメ感迫スル  
コト  
右及申(直)報復也

S 1.1.1.0 - 16

427

968



電信課長

昭和7 二一四二七 暗

廣東 廿五日後發  
本省 九月廿五日後着

亞

大臣  
次官

内田外務大臣

吉田總領事代理

第五九三號

往電第五九〇號ニ關シ

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人文 文書 會計

寫送先

外務省

一、二十三日市政府ヨリ本官ノ要求ニ基キ民國日報ニ本件事實調査ノ  
上答申方命シタル處今般編輯人ヨリ右ハ事實ニ相違セルニ付海員  
工會ノ申出モアリ廿日ノ紙上ニ取消文掲載セル旨回答アリタルニ  
付テハ右ニテ御承知アリタキ旨ノ公文ニ接セリ  
二、本官ハ吳秘書ヲ呼付ケ右ヲ以テ満足スル能ハサル旨告ケタル處吳  
ハ市政府側トシテハ黨部新聞ニ取消文ヲ掲載セシムルニ付テモ鮮

S 1.1.1.0 - 16

428

397 (記)

カラス苦心ヲ要シタルニ貴官ノ御申出ニ依リ更ニ新聞側ヨリ書翰  
ヲ取付クルニ際シテハ新聞側ニ既ニ取消ヲ出セル以上新聞トシテ  
義務ヲ盡セリトテ斷乎トシテ應セス種々說得ノ結果兎モ角回答越  
シタル次第ニテ之レ以上ハ到底不可能ニ付右ニテ承引アリタシト  
辯疏大イニ力メタルカ本官ハ何等カノ形式ニ於テ前電本官ノ要求  
ニ應スルヲ要スル旨主張シタリ  
三、二十四日吳秘書市長ノ意ヲ受ケテ來訪シ口頭ニテ市政府側カ本件  
ニ關シ前例無キ程速ニ調査ヲ爲シ本官ヨリ交渉ニ接シタル翌朝ニ  
ハ既ニ取消文ヲ出サシメタル事實ニ依リ市政府側ノ誠意ヲ認メラ  
レタク尙市長モ本件發生ヲ不幸ナル出來事ト認メ居ルニ付テハ諒  
トセラレタキ旨申出アリタリ

S 1.1.1.0 - 16

429

398

外務省



四本件ニ付當方其後ノ調査ニ依ルモ既電當館密偵其ノ他警備艦側派出ノ邦人密偵及臺灣總督府派遣員等モ何レモ事實ヲ目撃セサリシ由ニ有之且既電ノ如ク市長ト黨部トノ機微ナル關係ニモ省ミ之レ以上固執スルモ徒ニ事件ヲ紛糾遷延セシムルノミニテ實效無カルヘシト存セラルルニ付テハ右ニテ一應解決ノ事ト致度ク御承認アリタシ

冒頭往電ノ通轉電セリ

支ヨリ上海へ、駐滿全權ヨリ奉天へ轉報アリタシ

外務省

S 1.1.1.0 - 16 430 399

亞細亞局  
普通往信第一〇五號

昭和七年九月二十五日

在宜昌

領事館事務代理 猿 渡

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

九一八紀念狀況等報告ノ件

滿洲事件發生一週年紀念日當日ニ於ケル當地紀念狀況概略電報致置タル處翌十九日ノ宜昌快報ノ如キ「民徳不足民知幼稚」ト概嘆サル程殆ド何等紀念ノ催ナク民衆運動ハ官憲ニ依リ全ク禁止セラレ救國會側ヨリ各會ニ通知シテ實行ヲ要求サル午前十時ヨリ五分間ノ一停止工作起立默禱」モ殆ド實行セラレズ半旗ヲ揚ゲタル向モ極ク僅少ニ止リタリ又救國會縣黨部等ノ反日傳單申譯的ニ市内ニ貼付セラ

在宜昌日本領事館

S 1.1.1.0 - 16 431

